

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2026 年 6 月 2 日 (火) 発刊

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨Y M C A グローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう!」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部長	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2026 年 6 月会報

今月の強調テーマ

YMCA リエゾン
評価

今
月
の
聖
句

「あなたのみ言葉は、私の道の光、わたしの歩みを照らす灯」

詩編119編105節

選：古屋 秀樹

"Your word is a lamp to my feet and a light to my path."

6月 巻頭言



「挑戦の一年を、次の未来へ」

甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

新緑がまぶしい季節となりました。今年度も残すところわずかとなり、会長として過ごしたこの一年を振り返る機会が増えてまいりました。振り返ってみると、本当に多くの出来事があり、例年以上に様々な挑戦を重ねた一年であったと感じています。

今年度、私たちは青少年育成を柱に、多くの CS 事業や体験型イベントを実施してまいりました。その中でも特に印象深かったのは、新規事業として取り組んだ「銀河鉄道の森」を活用したデイキャンプです。自然の中で子どもたちに体験の場を提供し、ユースリーダーと共に活動を作り上げていくという挑戦は、私たちクラブにとっても非常に大きな意味を持つ事業となりました。

しかし、前例のない事業であったからこそ、準備段階では多くの課題がありました。安全面の確認、備品や導線の整備、参加者対応、当日の運営方法など、一つひとつを手探りで進める必要があり、会長として判断を求められる場面も数多くありました。時には不安を感じることもありましたが、そのたびに多くの会員の皆さまが知恵を出し合い、支えてくださいました。

今年度は、キャビネットにも現役世代の若いメンバーに加わっていただきました。仕事で忙しい中でも積極的に役割を担い、新しい発想や行動力をもってクラブ運営を支えてくださったことは、大きな力となりました。一方で、経験の少ない私たちを、先輩会員の皆さまが温かく見守り、時には厳しくも的確な助言をくださったことで、大きな混乱なく一年を進めることができました。世代を超えて支え合う姿勢こそ、甲府 21 クラブの大きな魅力であり、強みであると改めて感じています。

また、毎月のように続く事業やイベントを支えてくださった会員の皆さま、そしてメネットの皆さまにも、深く感謝申し上げます。準備や運営には多くの時間と労力が必要でしたが、それぞれが自分にできる役割を果たし、協力してくださったおかげで、一つひとつの活動を無事に終えることができました。目立たない部分で支えてくださった多くの方々の存在があったからこそ、この一年の活動が成り立っていたのだと思います。

一方で、反省点もあります。今年度は事業数も多く、準備や打ち合わせに時間を割く場面が増えたことで、例会の内容が打ち合わせ中心になってしまうこともありました。本来であ

<次ページへ続く>

5 月 第 1 例会報告

書記 佐藤 利之
協力・藤原副書記

日時 2026 年 5 月 12 日 (火) 18:30～
会場 山梨 YMCA

まず、会長より 4 月の活動報告と今後の主要事業についてお話がありました。

ベビーカーコンサートでは多くの協力をいただき、また富士五湖クラブのフライングディスク大会でもボランティアとして支えていただいたことに感謝の言葉がありました。

5 月には記念旅行、そしてクラブの重要な奉仕活動である山梨 YMCA チャリティーランが控えています。私たちはレース担当としてイベント運営の大きな役割を担っており、当日に向けて担当ごとの打ち合わせも行われました。

会長からは、これらの活動は子どもたちに貴重な体験を届けるだけでなく、地域社会の中でクラブの存在意義を示す大切な機会であるとお話がありました。

「人と人がつながる場所をつくり、子どもたちの未来を築いていく」という言葉がとても印象的で、私たちの活動の意味を改めて考える時間となりました。

さらに今回は、杉山様をゲストとしてお迎えしました。野々垣ワイズからは、杉山様とのご縁を通じて国際基督教大学卒業生の就職支援につながったエピソードも紹介され、ワイズのネットワークが実社会の中で大きな力となっていると感じました。

杉山様ご本人からもこれまでのご経験やクラブへの期待についてお話をいただき、「今後ぜひ皆さんと一緒に活動していきたい」とのお言葉をいただきました。今後の交流がとても楽しみです。



<水越会長巻頭言・①ページより>

れば、もっと会員の皆さまに楽しみながら参加していただける例会づくりが必要だったのではないかと感じています。この経験は、次年度へ向けた大切な課題として引き継いでいきたいと思います。

それでも、この一年を通して、甲府 21 クラブの地域におけるプレゼンスは確実に高まったのではないかと感じています。青少年育成や地域活動に真剣に向き合い、多くの人々と関わりながら歩んできた経験は、クラブにとって大きな財産となりました。子どもたちやユースの笑顔、地域の皆さまとのつながりは、私たちの活動が確かに地域の中で必要とされていることを実感させてくれました。

忙しく、大変なことも多かった一年でした。しかし、それ以上に、多くの仲間と共に悩み、挑戦し、支え合いながら歩めたことが、何よりの喜びだったと感じています。そして、この経験は、これからの甲府 21 クラブの未来にも確実につながっていくものだと思っています。

これからも甲府 21 クラブが、コアメンバーだけではなく、新たに入会する仲間や地域の多くの人々を巻き込みながら、地域社会へ良い影響を与え続けるクラブであってほしいと願っております。そして、青少年の未来を支える活動が、さらに広がり続けていくことを期待しています。一年間、本当にありがとうございました。

6 月 第 1 例会プログラム

2025 年 6 月 2 日 (火) 18:30～

会場：山梨 YMCA 3 階大澤英二記念ホール

司会 藤原副書記

1. 開会点鐘 水越会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 奏楽 杉田博子ワイズ
古屋秀樹ワイズ
3. 今月の聖句
4. 会員ひと言
5. 会長挨拶 水越会長
6. ハッピーバースデー
7. ワイズディナー
8. 連絡事項
 - ①チャリティーランへのご協力に感謝
 - ②フードバンクについて説明とご協力に感謝
9. YMCA 報告・諸報告
10. YMCA の歌 奏楽 杉田博子ワイズ
11. 閉会点鐘 水越会長

今後の予定

6/6 (土) ワイズメンズクラブ東日本区大会
石巻河北総合センター ビックバン

6/16 (火) 18:30 第 2 例会

6/27 (土) 山梨 YMCA 創立 80 周年記念
式典 13:30～15:30

7/7 (火) 2026 年度キックオフ例会
於：山梨 YMCA 3 階

Happy Birthday!

<6 月の誕生者>

<メ>

野々垣健五	6/5	寺田 喜長	6/13
水越 正高	6/14	杉田 博子	6/15
奈良田和也	6/16	野々垣和宏	6/21
清水 公一	6/24		

<メネット>

赤根 教子	6/9	古屋 律子	6/26
-------	-----	-------	------

<敬称略>



第28回チャリティーラン

<第 28 回山梨 YMCA チャリティーランを終えて>

チャリティーラン実行幹事 興水順雄

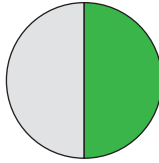
2026 年 5 月 2 3 日土曜日、地球温暖化が叫ばれ暑さが厳しくなっている中、曇りがちな天候に恵まれチャリティーランが開催されました。幼児から大人までが楽しく、また懸命に走りました。抽選会も盛り上がり、多くの笑顔と共に終了。レース参加者・ボランティアを含め年齢、性別、障がい、国籍を問わず、共に一つのイベントを作り上げる時間は貴重なものでした。

甲府 21 クラブからは 25 名(メン 19 名+メネット 6 名) が参加、運営に大きな力を発揮しました。主な担当はレース部で、スタート、リレー地点を中心にスムーズな運営ができたと思います。メネットの皆様には、参加者への軽食等の袋詰め、参加賞の配布など活躍していただきました。感謝です。

協賛社数が減るなどいくつかの課題はありますが、継続していくことが大切だと思います。ワイズメンはこうしたイベントを通して、奉仕の喜びを分かち合うと共に、人々とながりを築きます。次回は今年以上に多くの協賛社・参加者で盛り上がるイベントにしましょう！



< 5 月例会出席者 5/12 >



50.0%

会員数	44名
第一例会出席者	22名
ゲスト出席者 杉山様	1名
メネット	名
総出席者数	23名
出席率(会員のみのみ)	50%

5月会計報告

会計 山口 了

[会計報告]

2026 年 5 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
5月の合計	23,200	0	23,200
5月末迄累計	254,447	100,000	354,447
達成率	101.8%	100%	101.3%



アーチ中止のため急遽横断幕掲示スタンド

35周年記念旅行

1990 年 11 月に発足した我が甲府 21 クラブは、昨年 11 月で 35 周年を迎えました。記念行事として鮎を求めて横須賀へ記念旅行を実施致しました。

* 原さんお手配方々ありがとうございました。

日時 2026 年 5 月 16 日 (土曜)

場所 横須賀方面 デラックスバスの旅

参加者 飯田剛、荻野清、小澤公紀、輿水順雄、
寺田喜長、野々垣健五、原孝一郎、平田耕治、
藤原琢也、古屋秀樹、松村禎夫、水越正高、
薬袋勝、山口了、相川泰代、荻野優子、寺田岸子
野々垣悦子、薬袋けさみ、原明美、水越家 3 名
(敬称略) 合計 23 名



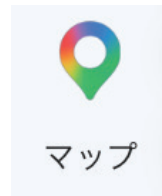
三崎館本店 ☎ 238-0243 神奈川県三浦市三崎 5-2-9
TEL.046-881-2117 FAX.046-881-2110



YOKOSUKA 軍港

ペンリレー補足

ブリテン委員長 野々垣和宏



<ストリートビュー>

Google マップは、Google 検索で、住所を入れて使う地図です。地図が表示されたら、「右下」にある人のマークをクリックすると、その場所の写真が出てきます。



この写真は、2025 年 5 月の中央 5 丁目付近です。他の日付を見る、というボタンを押すと・・・



このように何枚か提示されますので、それを選んでクリック。



こちらは同じ場所の 2017 年 4 月の写真です。中央 5 丁目 YMCA の懐かしい写真ですね。



この写真は今の YMCA のところにあった甲府市立中央保育所の写真。2014 年。

大人な徘徊 国内編



薬袋 勝

徘徊人 薬袋 勝

徘徊は、水平方向だけでなく垂直方向も実施しなければ片手落ちです。幸いの事に、ご近所家族の方々と健康&交流をかねて山梨百名山を制覇しておりました。80 座を消化しましたが、その後、難易度が高いなどの理由により登山を躊躇しておりました。本格的に徘徊をするに従いこの事が気になり、少なくとも山梨にある標高日本 1, 2, 3 位の富士山 (3,776)、北岳 (3,193) 及び間ノ岳 (3,190m) の徘徊を目指しました。12 年には北岳を目指しましたが、疲労のため失敗。家の近くの山の徘徊を重ね準備し、14 年に北岳と小太郎山、15 年に北岳と間ノ岳の山岳徘徊に成功しました。残り富士山は、昔からあの山は眺める山だと、登山を躊躇しておりましたが、16 年に登山、ただ登って降りてくるだけのこの山は徘徊の趣旨に合わずやはり眺める山だと実感しました。

◎道祖神

甲府の街を徘徊していると丸石の道祖神が目につきます。疫病や悪霊を防ぐため、道祖神は、村境に在ったと言われていました。現在では、道路の拡張などにより片隅に追いやれ、ヒっそりと佇んでいます。街角にその存在を示している神様も居ります。お姿も、ピカピカに磨かれた丸石も居れば、近くの河原から拾ってきたような石を乗せて居るものまで様々です。何故この様な石が、神様になったかわかりませんが、昔の素朴な人々の宗教観が窺われます。不思議なことに信州で見られる二人の神様が寄り添った双体の道祖神は



めったに見られません。また、徘徊を始めてから約 10 年の間にさまざまな理由により姿を消してしまった神様もあり残念です。まだ甲府旧市内にも 20 カ所以上、県内には数え切れない道祖神が存在しています。ぜひ皆様も、街を歩いた際気を付けてご覧下さい。丸石がニッコリと笑い掛けるかも知れません。



◎終わりに

徘徊の中には、小学校の同級生と始めている山梨県内の神社仏閣の霊場巡りもあります。これはこの会よりその内に紹介されると思いますのでご覧ください。

何もかも中途半端な私が何となく続けてきた徘徊で、地球円周距離を歩いてしまいました「塵も積もれば何とやら」です。ここで徘徊をやめることも可能ですが、習慣づけたこの徘徊、朝、目が覚めるとウズウズしてきます。当分の間、ボケ防止と健康維持を目的に徘徊を実施していきます。

更に歩行距離は伸びていきますが、再度地球一周は無理と思います。どこまで行けるでしょうか…?! こんなこと考えていたら、日本をすべて徘徊していない事に気が付きました。例えば、沖縄県、愛媛県、鳥取県等、また県庁所在地に至っては山形、福井、岐阜、和歌山、鳥取、松江、山口、松山、高知、佐賀及び那覇が数えられました。これらを消化しないと、私の徘徊の道は達成されないかもしれません。

先に書きましたが、この徘徊を 80 の年まで長く続けられたのは、妻の協力がなければ出来ませんでした。改めて深く感謝をいたします。これからは、一人徘徊でなく、二人で楽しみながら徘徊を続けていきたいと思っています。手始めに、沖縄の徘徊を考えております。

大人な徘徊は今号で終了です。
ありがとうございました。

ペンリレー

「Google って、実はすごい」

ブリテン委員長 野々垣 和宏

最近、「Google って本当に便利だなあ」と感じるが増えました。検索をするだけではなく、暮らしの中で役立つ機能がたくさんあります。今回は私が「これは面白い!」と思った三つをご紹介します。

まず一つ目は、Google マップの「ストリートビュー」です。道の様子を写真で見られる機能ですが、実は“過去の写真”を見ることができます。例えば、自分の家の周辺を見てみると、「あ、このお店、前は違う建物だった」「昔は空き地だったんだ」と懐かしくなります。私は昔住んでいた町を見て、思わず時間旅行をした気分になりました。子どもの頃の通学路を探してみるのも楽しいかもしれません。

二つ目は「Google Gemini」です。最近話題の AI ですが、これがなかなか賢いのです。文章を書いたり、調べものを手伝ってくれたり、「旅行プランを考えて」と頼むと、ちゃんと提案してくれます。難しい操作は意外と少なく、「こんなことをしたい」と話しかけるだけで使えるので、まるで物知りの相談相手ができそうです。私も文章のアイデアを考える時に助けてもらっています。

三つ目は「NotebookLM」という少し変わったサービスです。自分で集めた資料や PDF を読み込ませると、その内容を整理してくれます。「この資料には何が書いてあったかな?」という時に、AI がまとめて教えてくれるのでとても便利です。会議のメモや、趣味の資料整理にも役立ちそうです。まるで“自分専用の図書館司書”がいるような感覚です。

昔は「インターネットは難しい」と感じていましたが、最近は便利で親しみやすい道具が増えてきました。少し試してみるだけでも、新しい発見があります。皆さんも、気になったものがあればぜひ触ってみてください。意外と毎日の生活が楽しくなるかもしれません。

<参考写真 ④に掲載>

◆YMCA便り◆

「チャリティーランの御礼と、
創立 80 周年記念式典に向けて」

総主事 中田 純子

爽やかな初夏の風が吹き抜ける 6 月を迎えました。皆様におかれましては、今期の締めくくりの月となりました。この 1 年間、YMCA の活動をいつも温かく支え、伴走して下さったことに、心から感謝申し上げます。先日開催いたしました「山梨 YMCA インターナショナルチャリティーラン 2026」では、多大なるご支援と力強いご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年の大会は、まさに YMCA らしい多様性と活気に満ちた、素晴らしい一日となりました。0 歳の小さなお子様からシニアボランティアの皆様、本当に幅広い皆様が集まってくださいました。何より嬉しかったのは、山梨学院大学陸上競技部の皆さんが若さあふれる力強い走りで大会にエネルギーを吹き込んでくれたこと、そして未来を担う子どもたちが、キラキラとした笑顔とひとりひとりのあふれるエネルギーで一生懸命にタスキをつないでくれたことです。年齢や国籍、障がいの有無を超え、地域の若者や子どもたちが一体となって心地よい汗を流す姿にも、胸が熱くなりました。無事に終えられましたこと感謝いたします。今年、山梨 YMCA は創立 80 周年という大きな節目を迎えています。この記念すべき年を皆様と共に祝い、次の時代への確かな一歩とするため、現在「80 周年記念式典」の開催に向けた実行委員会が本格的に始動しております。実行委員会には、ワイズメンズクラブの皆様からも多くの知恵とエネルギーをいただいております。大変心強く思っております。これまでの 80 年の歩みに感謝を捧げるとともに、今回のチャリティーランで実感した若者や子どもたちの輝く未来のために、私たちは何ができるかを前向きに語り合っています。この式典を、皆様とのパートナーシップをさらに深め、次世代へ希望を繋ぐ素晴らしい出発点にしたいと考えております。まもなく、今期の活動の締めくくりの時となります。役員の皆様、1 年間本当にありがとうございました。